

史料保存館 企画展示

尾花座 -芝居小屋から 映画館へ-

展示期間 平成30年7月24日(火)~10月8日(月)



終戦後、「愛染かつら」上映時の尾花劇場 昭和21年(1946)ごろ



大正~昭和初期の尾花劇場
1920年代



無声映画「実録忠臣蔵」奉献額
大正10年(1921)



尾花座記念碑(桂米朝揮毫)
昭和56年(1981)

史料保存館

〒630-8337 奈良市脇戸町1-1
TEL: 0742-27-0169

 歴史街道
REKISHI KADO

後援/歴史街道推進協議会

尾花座

—芝居小屋から映画館へ—

尾花座は、明治30年代には開業していた奈良でも老舗の劇場です。明治42年（1909）の建物の大改修後は、当時人気の歌舞伎や演劇などを上演しました。大正9年（1920）からは、映画館「尾花劇場」として、昭和54年（1979）の閉館まで、多くの話題作、名画を上映して人々を楽しませました。その後、映画はテレビの普及などで衰退を余儀なくされますが、近年は各地で映画祭が行われるなど、文化としての映画の価値を再評価する動きが広がっています。奈良でも今年9月20日から5日間「なら国際映画祭2018」が開催されます。

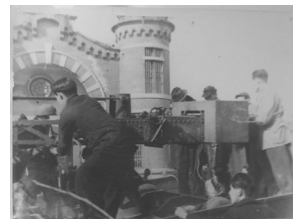
今回の展示では、芝居小屋から映画館へと奈良町の娯楽の中心地のひとつとして、多くの人に愛された尾花座に残る芝居と映画関係の史料約30点を展示して、奈良の大衆文化史の一端を紹介します。

主な展示史料

- ・映画「実録忠臣蔵」尾花劇場上映奉献額
大正10年（1921）※7/24～9/2まで展示
- ・文士劇尾花座公演奉献額
明治45年（1912）※9/4～10/8まで展示
- ・「愛染かつら」スチール写真
昭和13年（1938）松竹制作
- ・「女性の勝利」（田中絹代出演）
ロケ風景写真 昭和21年（1946）
- ・「君の名は」ポスター
昭和28～29年（1953～1954）
- ・「燃えよドラゴン」ポスター・スチール写真
昭和48年（1973）



①



②



③

- ①「君の名は」ポスター 昭和28～29年（1953～1954）
- ②「女性の勝利」旧奈良監獄のロケ風景 昭和21年（1946）
- ③「太陽は日々新たなり」荒池畔のロケ風景 昭和30年（1955）

展示関連イベント

☆館員の展示解説（申込不要・無料）

場所：史料保存館

- ① 8月11日（土） 午後1時半～約30分
- ② 9月11日（火） 午後1時半～約30分

☆奈良町にぎわいの家出張展示

（申込不要・無料）

「タイムトラベル奈良町～尾花座～」

奈良町にぎわいの家で、展示に関連した史料の一部を出張展示し、史料保存館の館員が史料の解説を行います。

日時：9月15日（土） 午後2時～4時

解説：午後2時から約30分

会場：奈良町にぎわいの家（奈良市中新屋町5）

☆夜間開館延長

① 8月10日（金）～8月12日（日） 夜9時まで
なら燈花会にちなみ、正面入口でろうそく点灯します。

② 8月18日（土）・8月19日（日） 夜8時まで
ぐれーとさまーふえすた☆ならまち遊歩の開催期間中は、正面入口で提灯点灯します。8月17日（金）～8月26日（日）

奈良市教育委員会 文化財課

〒630-8337 奈良市脇戸町1-1 TEL：0742-27-0169

史料保存館

★史料保存館について詳しくは 奈良市役所ホームページから
「奈良市史料保存館へようこそ！」で検索してください。

開館時間：午前9時半～午後5時（入館は午後4時半まで）

休館日：9月18日（火）・25日（火）・月曜日（祝日は開館）

入館料：無料

【交通アクセス】

■駐車場はありません。公共交通機関をご利用下さい。

徒歩：近鉄奈良駅から南へ徒歩10～15分。またはJR奈良駅から南東へ徒歩約15～20分。

バス○上記各駅から、市内循環バス「北京終町」下車、北へ徒歩約8分。「天理駅」「下山」行きバスで「福智院町」下車西へ徒歩約10分。

○土・日・祝日運行ぐるっとバス B10「ならまち・なら工芸館」または R11「ならまち」下車、徒歩5分。

